

新世代ネットワーク分科会ワークショップ 開催状況

○日時: 2012年3月27日(火) 14:00~17:30

○場所: 情報通信研究機構 本部 (東京都小金井市)

○後援: (独)情報通信研究機構

○来場者数: 48名

○報告:

第3回目となる今回は、恒例の成果発表に加え、当分科会としては初めての試みとして基調講演とパネル討論も併せて実施した。

基調講演では、早稲田大学の松島教授より、「光ファイバ通信技術が実用化までに約40年を要していることから、イノベーションを伴う研究開発は常に長期スパンで考えていくべき」との提言に、一同認識を新たにした。

各WG活動の成果発表の中では、昨秋に世界に先駆けて成功したITU-Tの新規格による100ギガビットイーサ相互接続検証実験の報告や、高速化と低消費電力を実現した光通信デバイスの研究開発に関する報告などがなされた。

続くパネルディスカッションでは、各WG活動の総括的な報告と新世代ネットワークの標準化動向などから、将来ネットワークへの展望が試みられた。今回は特に、東日本大震災から得られた知見や、省電力に対する様々な取り組み事例なども各パネリストから紹介され、今後の研究開発の方向性を占う上で実りあるパネル討論となった。

～プログラム～

①主催者挨拶(14:00~14:05)

新世代ネットワーク分科会リーダー 大柴小枝子氏(京都工芸繊維大学大学院教授)

②基調講演(14:05~14:45)

「光通信技術の沿革と展望～光通信インフラのイノベーションから学ぶ～」

早稲田大学研究戦略センター教授 松島裕一氏

③各WGの成果発表(14:45~15:35)

座長: 原井 洋明 氏(情報通信研究機構)

■相互接続性検証WG

「100GE/OTU4による異ベンダ間相互接続検証実験」

NECネットワークプラットフォーム事業本部

光ネットワーク事業部 吉原知樹 氏

■フォトニックWG

「ユニバーサルリンク技術の研究開発とJGN-Xフィールド実験」

NTT未来ねっと研究所

フォトニックトランスポートネットワーク研究部 宮本 裕 氏

④パネルディスカッション(15:50~17:10)

■テーマ「将来ネットワークのあるべき姿とこれからの研究開発

～各WG活動の成果と標準化動向から～」

・パネリスト:

岡本 聡 氏(相互接続性検証WG副主査/慶應義塾大学大学院 准教授)

宮本 裕 氏(フォトニックWG/NTT未来ねっと研究所 上席特別研究員)

大槻英樹 氏(情報通信研究機構 テストベッド研究開発推進センター)

・モデレータ:

大柴小枝子 氏(新世代ネットワーク分科会リーダー/京都工芸繊維大学大学院教授)

⑤閉会挨拶(17:10)

情報通信研究機構理事 宮部 博史 氏



主催者開会挨拶: 大柴小枝子氏
(新世代ネットワーク分科会リーダー)



基調講演: 松島裕一氏
(早稲田大学教授)



WG成果発表: NEC 吉原氏
(相互接続性検証WG)



WG成果発表: NTT 宮本氏
(フォトニックWG)



パネルディスカッション
(ステージ左から大柴氏、岡本氏、宮本氏、大槻氏)



閉会挨拶: 宮部博史氏
(NICT 理事)



各WG活動等の
ポスター展示